

# 防災かしの木

上尾かしの木特別支援学校  
防災部 防災推進委員会

令和2年2月4日 第2号

## 「避難行動要支援者名簿」とは？

東日本大震災においては、犠牲者の6割が65歳以上の高齢者で、障がい者の死亡率は被災住民全体の死亡率の約2倍に上りました。こうした東日本大震災の教訓を踏まえ、平成25年の災害対策基本法の改正において、避難行動要支援者名簿を活用した実効性のある避難支援がなされるよう、「避難行動要支援者名簿」の作成が市町村に義務付けられました。「避難行動要支援者名簿」は、自ら避難することが困難な方（「避難行動要支援者」）を円滑かつ迅速に避難できるよう支援するために、地域の避難支援関係者（消防機関、自主防災組織、民生委員等）にあらかじめ情報を提供するための名簿です。情報の提供には、原則として避難行動要支援者本人の同意が必要なため、各市町村は名簿記載要件に該当する方に、情報提供の同意を確認しています。名簿記載要件や同意の方法は市町村によって異なりますので、直接担当課にお問い合わせください。

さいたま市 福祉総務課 管理係 048-829-1253  
上尾市 危機管理防災課 048-775-5140 障害福祉課 048-775-5122  
蓮田市 危機管理課 危機管理調整担当 048-768-3111 内線：297  
伊奈町 福祉課総合福祉係 048-721-2111

各市町村の認知度や情報提供同意状況 <意識調査集計より>

### 1 さいたま市

(1) 「避難行動要支援者名簿」の存在をご存知ですか？

①知っている 154人(78.2%) ②知らない 43人(21.8%)

(2) 避難行動要支援者名簿の「事前提供用名簿」の掲載に同意されていますか？

①同意している 94人(47.5%) ②同意していない 104人(52.5%)

(3) 同意されていない場合、今後「名簿記載」の意志はありますか？

①ある 70人(70.7%) ②ない 29人(29.3%)

### 2 上尾市

(1) 「避難支援情報提供同意書 兼 個別計画票」をご存知ですか？

①知っている 7人(30.4%) ②知らない 16人(69.6%)

(2) 「避難支援情報提供同意書 兼 個別計画票」の提供に同意し計画票を提出されていますか？

①提出済み 5人(22.7%) ②未提出 17人(77.3%)

(3) 未提出の場合、今後提出の意志はありますか？

①ある 12人(70.6%) ②ない 5人(29.4%)

### 3 蓮田市・伊奈町

(1) 「避難行動要支援者名簿」の存在をご存知ですか？

①知っている 45人(55.6%) ②知らない 36人(44.4%)

(2) 避難行動要支援者名簿の掲載に同意されていますか？

①同意している 26人(32.1%) ②同意していない 55人(67.9%)

(3) 同意されていない場合、今後「名簿記載」の意志はありますか？

①ある 29人(61.7%) ②ない 18人(38.3%)

## 「ヘルプカード」



「ヘルプカード」とは、“障がいのある、手助けを必要とする方”と“手助けをする方”をつなぐための意思表示カードで、県や市町村等で普及に努めています。まだ認知度も低く、必要を感じていない方やカードの悪用を心配されている方も多いようですが、災害の混乱時に離れ離れになってしまった場合など、携帯していることで役立つひとつのツールになるかも知れません。さいたま市では、「防災・緊急安心カード」や「サポートカード」というカードを配布しています。市のHPで検索できますので、参照してみてくださいはいかがでしょうか。

<意識調査集計より>

Q8(1) 「ヘルプカード」を ①知っている 38.4% ②知らない 61.6%

(2) 「ヘルプカード」を ①携帯させている 7.9% ②させていない 92.1%

(3) 携帯させることによる、メリット・デメリット

【 メリット 】

○見た目では障害がわかりにくいことを知ってもらえる。(2)

○一目で支援が必要な子だとわかる。(3) ○いざという時や災害時に役立ちそう。(5)

○ことばでの意思疎通が難しいのでメリットがあると思う(2)

○万が一1人になってしまった場合に連絡がもらえる。(2)

○周囲に知らせることで障がいがあることを理解してもらえる(2)

○必要性を感じ、本人が分かるようなものも作りたいと思っていたので、ヘルプカードを活用したいと思う。

○病名は分からないようなので悪くないと思う。

○迷わずに親のところに行ける。同じものを親も持っているという安心感がある。

【 デメリット 】

○紛失等による個人情報の漏洩。(7) ○個人情報の悪用。(3)

○ヘルプカードの存在と役割が理解されていない。認知度が低い(6)

○携帯による障害への偏見。(1)

○防犯上のリスク、連れ去り等のリスク、いたずらやだまされたりしないかが心配(4)

○本人がきちんと理解できるかが不安要素で、実際に活用できるかどうか…

「防災かしの木 No,3」(2月中旬頃発行予定)に続く